



新^{しん} 緑^{みどり} ニュース



病院の理念

確かな医療技術
やさしい対応
地域への貢献

さんきかい よこはましんみどりそうごうびょういん
医療法人社団 三喜会 横浜新緑総合病院
〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7
TEL. 045-984-2400 (代表) FAX. 045-983-4271
発行 地域医療連携室 TEL.045-984-6216 (直通)

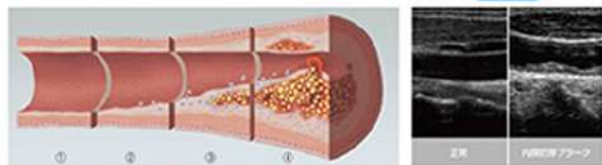


歩くと足が痛い…それって下肢閉塞性動脈硬化症かも？

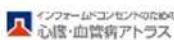
内科 堀井 睦夫 (循環器内科専門医)

● 下肢閉塞性動脈硬化症とは

下肢閉塞性動脈硬化症とは別名 末梢動脈疾患 (Peripheral Arterial Disease, PAD) といい、**足の動脈が動脈硬化により狭窄または閉塞し、血流が悪くなる病気**です。これにより、足への血液供給が不十分になり、痛みや歩行困難が生じることがあります。

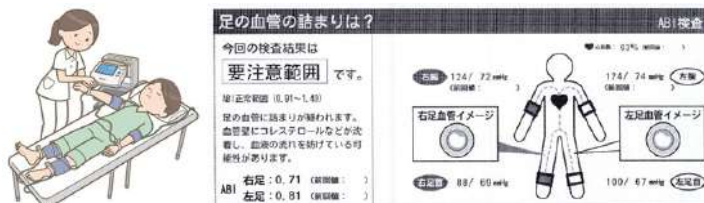


動脈硬化の進展



● **ABI検査 (足関節上腕血圧比) : 血圧を測定し、動脈の狭窄や閉塞の程度を評価することができます。**

- ・下肢動脈超音波検査 ・MRI検査
- ・CT検査 ・血管造影検査



ABI検査の様子

ABI結果用紙の一部

● 下肢閉塞性動脈硬化症の種類

- ①無症候性末梢動脈疾患：症状が現れない段階で、定期的な検査で見発されることが多いです。
- ②慢性下肢閉塞性動脈硬化症：**歩行中に足やふくらはぎに痛みや痺れが生じ、休むと症状が改善する状態です (間欠性跛行)**。進行すると安静にしている時にも足に痛みが生じ、特に夜間に強く感じる人が多いです (安静時疼痛)。
- ③重症下肢虚血：皮膚の色が変わったり、潰瘍や壊疽が発生したりする状態で、緊急の治療が必要です。

● 下肢閉塞性動脈硬化症の症状

- ・ **歩行中の足やふくらはぎの痛み、痺れ**
- ・ **休むと症状が軽減**
- ・ **足の冷感、蒼白**
- ・ 安静時の足の痛み
- ・ 足や指の潰瘍や壊疽 (えそ)

● 下肢閉塞性動脈硬化症の主な原因

- ・喫煙 ・高血圧 ・高脂血症 ・糖尿病

● 下肢閉塞性動脈硬化症に対する検査

- ・身体診察：足の脈拍や皮膚の状態を確認。

● 下肢閉塞性動脈硬化症の問題点

- ・歩行や日常生活に支障：痛みにより歩行が困難になることがあります。
- ・潰瘍や壊疽のリスク：足の血流が悪くなると、皮膚の損傷が治りにくなります。
- ・心血管疾患のリスク：動脈硬化が進行すると、心筋梗塞や脳卒中のリスクも高まります。



下肢血流低下の様子

● 下肢閉塞性動脈硬化症の治療 生活習慣の改善

- ・禁煙 ・食事療法 ・運動療法

薬物療法

- ・抗血小板薬 ・コレステロール低下薬 ・血圧降下薬

手術療法

- ・血管形成術 ・バイパス手術

● まとめ

間欠性跛行の症状は閉塞性動脈硬化症が原因かもしれません。足の症状が気になる方は主治医にABI検査について相談してください。

※腰部脊柱管狭窄症が間欠性跛行の原因になることがあります。



防災訓練を行いました

患者さまの命を預かる場所である病院が、もし火事になってしまったら、どのように患者さまの命とスタッフの身の安全を守りながら、消火活動と避難誘導を行えばよいのでしょうか。11月15日「4F内視鏡室」での出火を想定した防災訓練を行いました。消火器を使う事を想定した消火訓練と、患者さまの避難誘導をする避難訓練を行い、導線の確認とシーツを用いた搬送の手順の確認をしました。「火事だ！火事だ！」の声とともにスタッフが消火器を取りに走り、迅速な消火活動を訓練しました。火や煙で被害が大きくなる前に、内視鏡室で働くスタッフは、応援にかけつけたスタッフと協力しあい、内視鏡室で治療を受けていると想定した患者役の方を、正面玄関まで迅速に避難誘導しました。



これから乾燥してくる季節であり、不審火も発生しないと言い切れません。私たちは、実際の対応を想定し、訓練の中から課題を見つけ、あってはならない火事が起きてしまった時、人命を預かる病院における行動を振り返りしています。防災訓練の日に外来にいらっしゃった方やご入院されていた方にはご協力頂き、本当にありがとうございました。



病診連携の会を開催しました

11月6日（水）新横浜グレイスホテルにて地域開業医の先生方をお招きして病診連携の会を開催し、多くの先生方に参加いただきました。

今年度新たに入職した医師の紹介や現診療体制の報告と、ふたり主治医制・かかりつけ医制の取り組みについて案内させていただきました。懇親会では活発な意見交換がおこなわれ、本連携会を通して病院と共に地域を支える先生方と「顔の見える関係」のきっかけになれば幸いです。



救急隊勉強会を開催しました

11/25（月）脳神経外科部長の豎月医師が講師を務め、救急隊員に向けて勉強会を開催しました。テーマは「脳卒中の歩き方」で脳卒中の分類、評価から治療までを分かりやすく講義しました。今回も救急出動を考慮して、対面とオンラインのハイブリットで開催し、多くの方々に参加いただきました。こうした勉強会を通して脳卒中の理解を深め、救急隊との連携向上に努めていければと思います。



年末年始の診療体制

- ◇ 年末年始も2次救急病院として、**24時間体制で「内科・整形外科・脳神経外科」の救急診療**を行っております。
- ◇ 急病で受診を希望される場合は、必ずお電話でお問い合わせの上、ご来院ください。

TEL 045-984-2400（代表）

12月28日（土） 通常診療

※午後 外来診療は行っていません

12月29日（日）～1月3日（金） 休診

1月4日（土） 通常診療

※午後 外来診療は行っていません

※薬の長期投与は原則できません。尚、疾患・症状によってはお受けできない場合もございますのでご了承ください。

WEB版みんなの健康講座

※オンライン配信

病気や健康に関する情報を発信しています。Web版みんなの健康講座はホームページ、スマートフォン（QRコード）からいつでもご視聴いただけます。

